

Dell EMC Systems Management Tools And Documentation バージョン 9.0.1

インストールガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Copyright © 2017 Dell Inc. or its subsidiaries. All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 概要	4
管理下システムと管理ステーション.....	4
『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェア.....	4
DTK の廃止に関するお知らせ.....	6
2 Windows での管理ステーションソフトウェアのインストール	7
Microsoft Windows Server および Hyper-V Server での管理ステーションソフトウェアのインストール.....	7
CLI モードを使用した管理ステーションソフトウェアのインストール.....	7
CLI モードを使用した管理ステーションソフトウェアのアンインストール.....	8
3 サポートされる Red Hat Enterprise Linux、Novell SUSE Linux Enterprise Server、および VMware ESXi Server での管理ステーションソフトウェアのインストール	9

概要

『Systems Management Tools and Documentation インストールガイド』は、管理ステーションソフトウェアの概要とそのインストール手順について説明します。Server Administrator のインストール方法については、『Dell EMC Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェアに収録されている『Dell EMC Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

システム管理ソフトウェア

システム管理ソフトウェアは、以下の3つのソフトウェアから構成されます。

- ・ Systems Management Tools and Documentation
- ・ サーバーアップデート
- ・ 管理コンソール

www.dell.com/support からソフトウェアの ISO イメージをダウンロードできます。

メモ: ソフトウェア DVD が必要な場合は、注文時または販売後にオプションしてソフトウェア DVD を購入する必要があります。

システム管理ソフトウェアに対応したシステム、対応オペレーティングシステム、およびコンポーネントについては、『Dell EMC OpenManage システムソフトウェアサポートマトリックス』(dell.com/openmanagemanuals) を参照してください。

トピック：

- ・ 管理下システムと管理ステーション
- ・ 『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェア

管理下システムと管理ステーション

システム管理ツールの使い方に応じて、システムを次のよう分類することができます。

- ・ 管理下システム

管理下システムとは、Server Administrator または Management Console を使用して監視および管理される任意のシステムです。Server Administrator は、『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェアに収録されているシステム管理ツールの1つです。Server Administrator を実行しているシステムを、ローカルで管理、またはサポートされているウェブブラウザを使ってリモートで管理できます。Server Administrator に関する詳細については、『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェアに収録されている『Server Administrator ユーザーズガイド』を参照してください。

- ・ 管理ステーション

管理ステーションとは、中心となる場所から1台または複数台の管理下システムをリモートで管理するために使用できるノートブック、デスクトップ、またはサーバです。次のようなツールを使用できます。

- ・ Intelligent Platform Management Interface (IPMI) ユーティリティ
- ・ Remote Access Controller (RAC) ツール
- ・ Dell EMC OpenManage Essentials または Server Administrator Web Server

『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェア

『Systems Management Tools and Documentation』は、システム管理ソフトウェアで構成されます。システム管理ソフトウェアは、システムコンポーネントの監視、問題の診断、アラートによる通知、およびリモートでのトラブルシューティングによってシステム管理に役立ちます。システム管理ソフトウェアは、管理下システムソフトウェアと管理ステーションソフトウェアに分類されます。

管理下システムソフトウェア

管理下システムソフトウェアは、次のアプリケーションに含まれます。

- Server Administrator

Server Administrator は、Web ブラウザベースのグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) とコマンドラインインターフェース (CLI) を使用して、サーバーをローカルおよびリモートで管理できる、包括的な 1対1 の帯域内管理ソリューションを提供します。Server Administrator では、サーバ固有のリモートアクセス (RAC) カードとネットワークインターフェース管理コンポーネントがインストールされます。

- Local Remote Access Controller

Local Remote Access Controller は、電圧、温度、およびファンの速度に関連する警告またはエラーをシステムが電子メール警告で受け取ることができるようにします。Remote Access Controller は、考えられるシステムクラッシュの原因の診断に役立つように、イベントデータおよび最新のクラッシュ画面 (Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでのみ使用可能) も記録します。

管理ステーションソフトウェア

『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェアを使ってインストールできる管理ステーションソフトウェアは、次のアプリケーションに含まれます。

- Active Directory Snap-In

Active Directory (AD) Snap-In ユーティリティは、本ソフトウェアの製品に固有の AD オブジェクトを管理するための、Microsoft Active Directory への拡張スナップインを提供します。

- BMC/IPMI ユーティリティ

BMC Management Utility (BMU) は、ベースボード管理コントローラ (BMC) または IPMI プロトコルを使用した iDRAC 搭載のシステムのリモート管理と設定機能を提供します。IPMI ユーティリティは、CLI ベースの管理ステーションソフトウェアです。

BMU の詳細については、『ベースボード管理コントローラユーティリティユーザーズガイド』を参照してください。

- RAC ツール

RAC コンソールは、システムにリモート管理機能を提供する管理ステーションソフトウェアです。RAC ハードウェアへは、ウェブブラウザまたは RACADM コマンドラインインターフェース (CLI) のどちらかを使用してリモートで接続し、RAC 機能にアクセスできます。RACADM CLI は RAC へのコマンドラインユーザーインターフェースです。

RAC は、管理下システムまたは管理ステーションのいずれかにインストールできます。

管理下システムへの RAC のインストールの詳細については、『Server Administrator インストールガイド』を参照してください。管理ステーション上でのインストールについての情報は、[Windows への管理ステーションソフトウェアのインストール](#)を参照してください。RAC の詳細に関しては、『Remote Access Controller User's Guide』(Remote Access Controller ユーザーズガイド) を参照してください。

- Dell Lifecycle Controller

Systems Build and Update Utility (SBUU) の代わりに、組み込み型管理、Integrated Dell Remote Access Controller 8 (iDRAC8) with Lifecycle Controller を使用することを推奨します。SBUU は、第 13 世代の PowerEdge サーバでは Lifecycle Controller と置き換えられます。Lifecycle Controller を使用する iDRAC は、オペレーティングシステムの導入および PowerEdge サーバのライフサイクル管理のための内蔵システム管理アプリケーションです。Dell Lifecycle Controller にはシステムの起動中に <F10> を押してアクセスできます。iDRAC8 with Lifecycle Controller のローカル GUI を使用し、pre-OS 環境で以下を実行できます。

- ハードウェア設定
- オペレーティングシステムとハイパーバイザーの導入
- ハードウェアアップデート
- ハードウェア診断
- PowerEdge サーバの簡易メンテナンス

Dell Lifecycle Controller は、第 11 世代以降の PowerEdge サーバすべてに組み込まれています。Lifecycle Controller の機能を使用するために、ツールやダウンロードは必要ありません。

詳細については、dell.com/support/manuals で入手できる次のマニュアルを参照してください。

- *Dell Lifecycle Controller* バージョン<バージョン番号> ユーザーズガイド
- *Dell Lifecycle Controller Remote Services* バージョン<バージョン番号> クイックスタートガイド
- *Dell Lifecycle Controller Web Services* インタフェースガイド
- *Dell Lifecycle Controller Integration* のベストプラクティス

- Dell EMC OpenManage Essentials

IT Assistant の代替には Dell EMC OpenManage Essentials を使用することをお勧めします。Dell EMC OpenManage Essentials (OME) は、次のような改善された機能を提供します。

- ・ システムの検出とインベントリ。
- ・ システムの正常性の監視。
- ・ システムアラートの表示と管理。
- ・ システムアップデートの実行。
- ・ ハードウェアインベントリおよび準拠レポートの表示

Dell EMC OpenManage Essentials の詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

・ iDRAC サービスモジュール

iDRAC サービスモジュールは、負荷の軽いオプションのソフトウェアアプリケーションで、すべての第 12 世代以降の Dell PowerEdge サーバにインストールできます。iDRAC サービスモジュールを使用して、サポートされるオペレーティングシステム上で機能を設定できます。iDRAC サービスモジュールはその他のサーバ管理データを iDRAC に提供し、OS インタフェースを通してシステム管理データへのアクセス権を持つ、1対多のコンソールを提供します。

また、iDRAC サービスモジュールは、GUI、RACADM CLI、および WSMAN などの iDRAC インタフェースを追加の監視機能を使用して補完します。詳細については、dell.com/support/home で入手可能な『iDRAC Service Module <バージョン番号> インストールガイド』を参照してください。

・ Dell EMC OpenManage Deployment Toolkit (DTK)

『Dell EMC OpenManage Deployment Toolkit (DTK)』には、一連のユーティリティ、サンプルスクリプト、およびサンプル設定ファイルが含まれており、システムの導入および設定に使用できます。DTK を使用して、現在の導入プロセスを変更せずに信頼性の高い方法で、プレオペレーティングシステム環境での多数のシステム導入用に、スクリプトベースと RPM ベースのインストールを構築できます。DTK を使用すると、BIOS または UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) モードで、オペレーティングシステムをインストールできます。

さまざまなシステム機能の設定に使用するコマンドラインユーティリティのほかに、DTK も一般的な導入タスクを実行するためのサンプルスクリプトと設定ファイルおよびマニュアルを提供します。これらのファイルとスクリプトは、Microsoft Windows Pre-installation Environment (Windows PE) および Linux 環境での DTK の使用について説明しています。詳細については、dell.com/openmanagemanuals で入手できる次のマニュアルを参照してください。

- ・ *Dell EMC OpenManage Deployment Toolkit* バージョン <バージョン番号> ユーザーズガイド
- ・ *Dell EMC OpenManage Deployment Toolkit* バージョン <バージョン番号> コマンドラインインタフェースリファレンスガイド
- ・ *Dell EMC OpenManage Deployment Toolkit* バージョン <バージョン番号> インストールガイド

DTK の廃止に関するお知らせ

OpenManage Deployment Toolkit (DTK) ならびに次に挙げるその関連ツールおよび機能は、バージョン 6.0.1 以降で廃止される予定です。

- ・ RAID (Redundant Array of Independent Disks) 設定 (RAIDCFG) ユーティリティ
- ・ システム設定 (SYSCFG) ユーティリティ
- ・ ELI ツール
- ・ ユーティリティパーティション (UPINIT)

RAIDCFG および SYSCFG ユーティリティの代わりとして、RACADM コマンドライン (CLI) を使用することをお勧めします。RACADM をダウンロードする方法の詳細については、support.dell.com を参照してください。

メモ: DTK は、第 14 世代 PowerEdge サーバのすべての新しいハードウェアまたはオペレーティングシステムを引き続きサポートします。ただし、その世代より後の PowerEdge サーバのサポートは廃止されます。DTK がサポートする機能の詳細については、dell.com/openmanagemanuals から入手できる最新のユーザーガイドを参照してください。

Windows での管理ステーションソフトウェアのインストール

1. 管理ステーションアプリケーションをインストールするシステムに、システム管理者権限でログインします。
2. 『Systems Management Tools and Documentation』DVD を DVD ドライブに挿入、またはウェブインストーラをダウンロードします。
 - ① **メモ:** ウェブインストーラは、dell.com/support/home からダウンロードすることができます。
3. **autorun.exe** を実行します。
 - ① **メモ:** DVD を使用してインストールを行っている場合は、インストールする管理ステーションアプリケーションを選択し、インストールをクリックします。
4. インストールウィザードの手順に従います。
 - ① **メモ:** リモート RAC (管理ステーションにインストールされた RAC) とローカル RAC (管理下システムにインストールされた RAC) を同じシステムにインストールすることはできません。

トピック：

- ・ [Microsoft Windows Server および Hyper-V Server での管理ステーションソフトウェアのインストール](#)

Microsoft Windows Server および Hyper-V Server での管理ステーションソフトウェアのインストール

Windows Server または Hyper-V Server オペレーティングシステムは、ソフトウェアコンポーネントのインストールに基づくグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) はサポートしていません。ソフトウェアは Server Core で CLI モードでインストールします。Server Core の詳細については、Microsoft のウェブサイトを参照してください。

- ① **メモ:** ビルトイン Administrator としてログインし、Windows Server および Windows クライアントのオペレーティングシステムにシステム管理ソフトウェアをインストールします。ビルトイン Administrator アカウントの詳細については、Windows Server ヘルプを参照してください。

CLI モードを使用した管理ステーションソフトウェアのインストール

- ① **メモ:** CLI モードを使用してタスクを正常に実行するには、コマンドプロンプトを管理者として実行してください。

RAC ツールをインストールするには、次のコマンドを使用して MSI ファイルを起動します。

- ・ `msiexec /i RACTools_x64.msi`

- ① **メモ:** 『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェア：

- ・ RACTools_x64.msi ファイルは `SYSMGMT\ManagementStation\windows\DRACx64` にあります。

BMU をインストールするには、次のコマンドを使用して MSI ファイルを起動します。

```
msiexec /i BMC.msi
```

- ① **メモ:** BMC.msi ファイルは『Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェアの `SYSMGMT\ManagementStation\windows\BMC` にあります。

Active Directory Snap-In をインストールするには、次のコマンドを使用して MSI ファイルを起動します。

・ `msiexec /i ADSnapIn_x64.msi`

メモ: 『*Systems Management Tools and Documentation*』ソフトウェア:

- ・ `ADSNapIn_x64.msi` ファイルは `SYSMGMT\ManagementStation\windows\ADSNapInx64` にあります。

管理ステーションソフトウェアのローカライズされたバージョンをインストールするには、コマンドプロンプトに、`msiexec /i <management_station_software>.msi TRANSFORMS= <language_transform>.mst` と入力します。

メモ: `<language_transform>.mst` には、次の適切な言語ファイルを置き換えてください。

- ・ `1031.mst` (ドイツ語)
- ・ `1034.mst` (スペイン語)
- ・ `1036.mst` (フランス語)
- ・ `1041.mst` (日本語)
- ・ `2052.mst` (簡体字中国語)

CLI モードを使用した管理ステーションソフトウェアのアンインストール

管理ステーションソフトウェアをアンインストールするには、次の表にリストされているコマンドを実行します。

表 1. 管理ステーションソフトウェアをアンインストールするためのコマンド

管理ステーションソフトウェア	コマンド
RAC ツール	<code>msiexec /x RACTools_x64.msi</code> (または) <code>msiexec /x {5BFAC585-F1C8-41AA-9416-0F86873B478C}</code>
BMC (32 ビット)	<code>msiexec /x BMC.msi</code> (または) <code>msiexec /x {8FF0F765-4FB1-46DD-B978-C76165CFDCE0}</code>
Active Directory Snap-In	<code>msiexec /x ADSnapIn_x64.msi</code> (または) <code>msiexec /x {E3B775A8-118A-4786-9EB1-F3BBE09F8A37}</code>
システム管理	<code>msiexec /x SysMgmt_.msi</code> (または) <code>msiexec /x {826996FB-E97F-44BE-BC09-7B2EAFDA739B}</code>

サポートされる Red Hat Enterprise Linux、 Novell SUSE Linux Enterprise Server、および VMware ESXi Server での管理ステーショ ンソフトウェアのインストール

Red Hat Enterprise Linux、SUSE Linux Enterprise Server、および VMware ESXi Server オペレーティングシステムでサポートされるのは、RAC ツールおよび BMU のみです。

Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、**-noexec mount** オプションを使用すると DVD が自動マウントされます。このオプションでは、DVD から実行ファイルを実行することはできません。DVD-ROM を手動でマウントし、その後実行ファイルを実行します。

BMU をインストールするには、**SYSMGMT/ManagementStation/linux/bmc** ディレクトリに移動し、次のコマンドでオペレーティングシステムに固有の BMU RPM をインストールします。

- Red Hat Enterprise Linux を実行しているシステムでは、`rpm -ivh osabmcutil*-RHEL-*.rpm` と入力
- SUSE Linux Enterprise Server を実行しているシステムでは、`rpm -ivh osabmcutil*-SUSE-*.rpm` と入力

最新バージョンの RAC ツールをインストールするには：


1. 既存の IPMI ツールをアンインストールするには：

a. 既存の IPMI ツールをクエリで探します：`rpm -qa | grep ipmitool`

IPMI ツールがすでにインストールされている場合、クエリは `ipmitool-x.x.xx-x.x.xx` を返します。

b. IPMI ツールをアンインストールするには、次の手順を実行します。

- SUSE Linux Enterprise Server および VMware ESXi Server を実行しているシステムでは、`rpm -e ipmitool-x.x.xx-x.x.xx` と入力します。
- Red Hat Enterprise Linux 6.x を実行しているシステムでは、`rpm -e ipmitool` と入力します。
- Red Hat Enterprise Linux 7.x を実行しているシステムでは、`rpm -e OpenIPMI-tools` と入力します。

 **メモ:** 既存の IPMITOOL によって行われた設定は維持されます。

2. **SYSMGMT/ManagementStation/linux/rac/<OS>** ディレクトリを参照してから、`rpm -ivh *.rpm` と入力します。